

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念はあるものの、グループホーム独自の理念がない。	地域密着型サービスとして、グループホーム独自の理念を作る。	法人理念をもとに、グループホームを位置づけられる理念を作成する。	3ヶ月
2	6	身体拘束についての研修等の具体的な実施記録がなかった。	グループホーム独自の身体拘束についての研修を行う。	年間研修計画を立て、グループホーム職員全体で身体拘束についての研修を行う。	12ヶ月
3	7	虐待についての研修等の具体的な実施記録がなかった。	グループホーム独自で虐待についての研修を行う。	年間研修計画を立て、グループホーム職員全体で虐待についての研修を行う。	12ヶ月
4	26	入院等で状況の変化があった入居者様の介護計画書の変更ができていなかった。	入院等で状況が変化した入居者様には、退院時に合わせて介護計画書の見直しを行う。	主治医・訪問看護師・入院先のソーシャルワーカー等と連携を取り、介護計画書の変更を行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。